

おおぜきひがしいせき
2. 大関東遺跡

所在地：坂井市坂井町東・蔵垣内

調査原因：県営かんがい排水事業

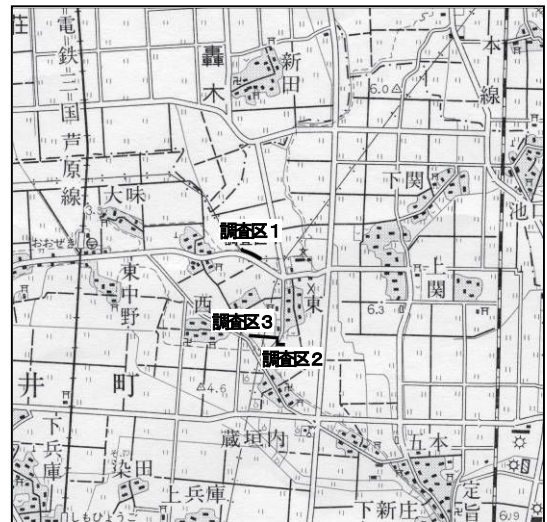
県営経営体育成基盤整備事業

調査期間：平成 21 年 4 月 1 日～ 9 月 30 日

調査主体：福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

調査面積：3,100 m²

時代：弥生時代・平安時代・中世



位置図 (S=1/50,000)

調査の概要 坂井平野に点在する微高地上に立地します。調査は、昨年と同じく農業用水をパイプラインに設置する部分を調査しました。位置は、昨年度調査した南側（調査区 2・同 3）と北側（同 1）にするになります。調査区 1 は、現用水に並行します。

遺構 調査区 1 では、現在使用されているコンクリートの用水になる前まで使われていた溝（SD01）を検出しました。SD01 は、幅 3 m、深さ 1 m 程ありました。SD01 は、上下 2 層にわかれ、上層では近世から現代の遺物が、その下層から古代～中世までの遺物が出土しました。特に下層からは平安時代の須恵器が多く出土しています。SD01 以外では土坑 1 基、井戸 8 基等を検出しました。時期は弥生時代の井戸 1 基、平安時代の土坑 1 基、井戸 2 基、中世の井戸 5 基です。井戸は、ほとんど素掘りで、深さは 2 m 未満とそれほど深くありません。

調査区 2 からは、溝・井戸・土坑を検出しました。SD21 は昨年度調査した溝につながるものが判明しました。

調査区 3 は、溝・土坑・井戸を検出しました。特に SE42 は弥生時代の大型井戸で径 2 m、深さ約 3 m の規模です。

遺物 調査区 1 の SD01 からは、須恵器・土師器を中心に近現代に亘る遺物が出土しました。また、井戸の 1 基からは弥生土器が出土しています。

調査区 2 では、溝から弥生土器や古墳時代の土師器や平安時代の須恵器・土師器が出土しています。

調査区 3 は、遺物が多く出土していませんが SE54 からは弥生土器と大型の緑色凝灰岩片が出土しています。

まとめ この 2 年で、延長約 1 km の調査をしてきましたが集落に中心部は分かりませんでした。しかし、調査区 3 の SE42 から弥生土器や緑色凝灰岩が出土しており、この近辺には同時期の集落があると思われます。また、調査区 1 の SD01 から平安時代の遺物が多く出土していることから、平安時代の集落も近隣にあると考えられます。

(青木隆佳)



調査区 1 全景



調査区 2 西側全景



SD25 遺物出土状況



調査区 3 全景



SD32 遺物出土状況



SE42 完掘状況